

「びわこ地球市民の森」に生育・生息する外来生物

～「生きもの調査」結果報告～

びわこ地球市民の森では、平成26年度から外来種、ほ乳類、鳥類、植物、節足動物などの「生きもの調査」を実施し、当調査をいかした自然と共存できる生物多様性に富んだ森づくりを目指しています。

今回は、最近在来種を脅かす外来種の増加が懸念されることから、前回（平成26年度）に実施した調査内容のその後の動向や変化を把握するため、令和元年度に「植物」と「水生生物」を対象とした外来生物調査を実施しましたので、その結果を報告します。

植物調査の結果

①確認された植物群落：13群落（在来種：9群落、外来種：4群落、左表は生育面積の大きい順に列記）

No.	在来植物群落	No.	外来植物群落
1	ヨシ群落	1	セイタカアワダチソウ群落
2	クサヨシ群落	2	オオバナミズキンバイ群落
3	オギ群落	3	ウチワゼニクサ群落
4	ウキヤガラ群落	4	オオフサモ群落
5	ヤナギ低木林	生育面積計 5,482㎡	
6	シロバナサクラタデ群落		
7	クズ群落		
8	マコモ群落		
9	ミゾソバ群落		
生育面積計 16,352㎡			



森の中で生育面積最大のヨシ群落



今回の調査で初めて確認されたオオバナミズキンバイ

②生育面積の占める割合：在来種75%、外来種25%

③里の森ゾーンで前回見られなかった特定外来生物「オオバナミズキンバイ」確認！

水生生物調査の結果

①確認された外来種：11種（前回調査：5種）うち特定外来生物：3種

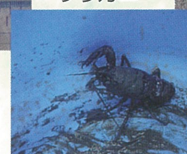
No.	種名	No.	種名
1	ブルーギル（特定外来生物）	7	カムルチー
2	オオクチバス（特定外来生物）	8	クサガメ
3	ウシガエル（特定外来生物）	9	ミシシippアカミミガメ
4	コイ（飼育型）	10	カワリヌマエビ属
5	バラタナゴ類	11	アメリカザリガニ
6	ツチフキ		



ブルーギル



アメリカザリガニ



ミシシippアカミミガメ

②前回調査から新たに外来種が6種増加（オオクチバス、コイ（飼育型）、バラタナゴ類、ツチフキ、クサガメ、カワリヌマエビ属）

③アメリカザリガニが広範囲に確認され、在来種の捕食に影響大

④幼魚、幼体の確認が多く、森が繁殖の場となっているおそれ

⑤琵琶湖に近い環境のため魚類の外来種が多く、在来種のミナミメダカの減少が目立つ

調査結果を踏まえて

前回（平成26年度調査）から新たな外来種が発生し、さらに種数・個体数も増加しており、今後次の早期対策が喫緊の課題！

○オオバナミズキンバイの完全除去！

・「オオバナミズキンバイ」はわずかな葉や茎からでも爆発的に増殖し繁殖力旺盛なため、在来種を駆逐するおそれがあり、早期に完全除去の対策が必要！

○外来水生生物の増加、侵入が深刻！

・森が繁殖の場となっており、また琵琶湖に近い環境のため、外来種の増加、侵入が目立ち、特にアメリカザリガニ、ブルーギル、ミシシippアカミミガメ等の駆除が必要！

*「特定外来生物」とは、外来生物法（平成17年施行）により飼育、栽培、保管、運搬、輸入等が規制された外来生物

本報告書は、森づくりセンター展示コーナーに設置していますので、自由にご覧ください。